

# 包括的公表

2024年4月～9月に報告された医療事故のうち、再発防止策が定まった包括的公表となる事例は下記の通りです。

No	発生場所	概 略	再発防止策
1	救急外来	頭部外傷患者に頭部CTと皮膚縫合処置を行い、別の医師へ引き継ぎし患者は帰宅した。 CT 検査の結果確認は引き継ぎを失念したため、翌日脳神経外科受診時に頭頂骨骨折と判明し入院となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーダー医は、画像結果を確認しカルテに所見を記載する。</li> <li>・患者を引き継いだ場合、引き継ぎする内容をカルテに記載する。</li> </ul>
2	救急外来	医師は看護師に気管内チューブ※1 8mm の準備を指示した。 挿管後、気管内チューブ 6mm が挿管されてることが判明した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師は指示内容を必ず復唱する。</li> <li>・準備・実施前は複数名で確認する。</li> </ul>
3	病棟	清拭時に気管切開カニューレ※2 が抜去し SpO2 が低下した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管切開カニューレ抜去時の緊急対応について勉強会を開催した。</li> <li>・気管切開カニューレ保持の手技確認を、人形を用いて実施する。</li> </ul>
4	手術室	下部食道切除＋胃全摘手術時に作成した偽性腸管※3 が腹腔内に残っていたため、8日後に再手術となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サインアウト※4 チェックリストの見直しを行う。手術に関与した医療者全員でチェックリストに沿って実施する。</li> </ul>
5	病棟	病室で採取した皮膚生検※5 の検体を紛失した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚生検した検体は、その場でトレイ内の保存容器へ入れ、速やかに検査室へ提出する。</li> <li>・検体保存のためのホルマリンを患者のベッドサイドに置いて離れる危険性について、職員へ周知する。</li> </ul>
6	手術室	智歯※6 抜歯術にて4本の抜歯を行ったが、その内1ヶ所の歯根が残存していた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抜歯した歯を左右分けて管理し、縫合前に全員（歯科医師/歯科衛生士/看護師）で形状の確認と残存歯がないかを確認する。</li> <li>・抜歯後に残存歯が懸念される場合、レントゲン撮影を追加する。</li> </ul>
7	手術室 病棟	右大腿骨頸部骨折術後に腓骨神経麻痺を発症した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリニカルパス※7 の下肢観察項目に左右を追加し早期発見に努める。</li> </ul>

No	発生場所	概 略	再発防止策
8	病棟	トイレで排泄後に立位になった際、バランスを崩し背中を強打した。 胸部・腹部 CT 検査にて右気胸が判明した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟は転倒リスクが高い患者について情報共有し、転倒転落予防に務める。</li> <li>・トイレ誘導時は可能な限りその場を離れない。その場を離れる場合は、他職員へ共有する。</li> </ul>
9	薬剤部 病棟	小児科のタゾピペ配合静注用 4.5(抗生剤)のオーダーに記載されていた溶解方法が、10 倍の投与量になっていることに気付かず 2 回投与した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科と薬剤部で、抗生剤の溶解方法を含めた統合セット※8 内容を見直した。</li> <li>・医師が抗生剤の希釈量を計算し入力する際は、ダブルチェックを徹底する。</li> <li>・統合セットからオーダーされていない場合、薬剤師は調剤時に内容を確認する。</li> </ul>
10	外来	歯科口腔外科にて抜歯する歯の左右を誤った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抜歯する歯の確認を手術同意書とレントゲンで、患者・医師・歯科衛生士で確認する。</li> </ul>
11	病棟	点滴が血管外漏出した後に刺入部が化膿したため、軟膏塗布と抗生剤投与が必要となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴抜針後は抜針部を洗浄またはクリーンコットンで拭き取る。</li> <li>・抜針後は観察を強化し炎症の早期発見に努める。</li> </ul>

※1 気管内チューブ → 気道確保や呼吸管理のために、口または鼻から気管内に挿入する管

※2 気管切開カニューレ → 気道を確保し、痰を出しやすくするために気管切開孔から挿入するチューブ

※3 偽性腸管 → 手術で人工的に作成した腸管の一部を切除したもの

※4 サインアウト → 患者が手術室から退室する前に行う安全確認

※5 皮膚生検 → 皮膚の一部を採取して詳しく調べる検査

※6 智歯 → 親知らず

※7 クリニカルパス → 入院患者の治療や検査のスケジュールを時間軸でまとめた計画表

※8 統合セット → 電子カルテで予め決められたオーダー内容やカルテ文書をセット化し、一括でオーダー・作成する機能